

2019年6月19日

横浜ゴムの「GEOLANDAR」装着車がオーストラリア最大級の オフロードレースでクラス優勝

横浜ゴム（株）のSUV向けオールテレーンタイヤ「GEOLANDAR A/T G015（ジオランダー・エイティ・ジーゼロイチゴ）」装着車が6月8日～10日に開催されたオーストラリア最大級のオフロードレース「Tatts Finke Desert Race」のEXTREME 4WD（X4WD）クラスで優勝しました。優勝したのは「TRD（Toyota Racing Development）」の新堀忠光選手／MURRAY KENNETH HYNES選手が駆る「TOYOTA HILUX」で、日本チームおよび日本人ドライバーが同クラスで優勝するのは今回が初となります。「GEOLANDAR A/T G015」は優れた走破性と耐久性を発揮し、勝利を支えました。

「Tatts Finke Desert Race」はオーストラリア・ノーザンテリトリーの内陸部のうち、細かな赤砂が多いレッドセンターと呼ばれる広かつ深い砂に覆われた荒野を縦断する往復460kmのデザートレース。「TRD」は昨年より20分タイムを縮めて往路を終了し、翌日の復路でも安定的な走りを通じ全143台中60台が制限時間内に完走出来ない中、タイヤ無交換で見事クラス優勝を果たしました。新堀選手は「GEOLANDAR A/T G015」について「デザートレースということで、より軽量でサスペンションの動きを活かせるGEOLANDAR A/T G015を選択しました。深い砂の上でも十分なトラクションが得られ、コントロール性も優れていたためドライビングに集中することができました。また予選、決勝を通じてパンクなどのトラブルはありませんでした」とコメントしました。

「GEOLANDAR A/T G015」はオフロードでの走破性・耐久性とオンロードでの快適性・静粛性を両立したオールテレーンタイヤ。デザイン面でもスタイリッシュでありながらオフロードタイヤらしい力強いイメージを実現しています。

横浜ゴムは中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」の技術戦略においてモータースポーツ活動を重要な先行技術開発の場と位置付け、フォーミュラやツーリングカーからラリーやオフロード、カートまで国内外の多岐にわたるレースに参戦しています。



砂地を走る「TRD」の「TOYOTA HILUX」



※写真はLTサイズ

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570